



～図書室にはこんな本があります～

No. 46

★ 利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料を紹介します。

(書名の後の () の数字は請求記号です。)

問 第二次世界大戦中の軍隊の食事(兵食)、レシピについて知りたい。

答 「兵食」「軍 調理」で検索。
(キーワードの間には、1文字分の空白を入れてください。)

例)

図書・雑誌	→	ことば	→	兵食	(56件該当)
図書・雑誌	→	ことば	→	軍 (空白) 調理	(76件該当)

『復刻軍隊調理法』(596 F73 閉架)
『海の男の艦隊料理』(397.9 U74 閉架)
『日本海軍食生活史話』(397.21 Se51 閉架)
『帝国陸軍戦場の衣食住』(383 R25 開架)

問 軍で使用していた食器について
下士官と将官では違ったらしいが、そのことが確認できる資料はあるか。

答 海軍 『日本海軍食生活史話』(397.21 Se51 閉架) P. 594～597
“下士官はアルミかほうろう(外地)…将官(准士官以上)は磁器”
陸軍 『大日本帝国軍隊』(392.1 D25 閉架)
『大日本帝国陸海軍』(395 N31 閉架)
『帝国陸軍戦場の衣食住』(383 R25 開架) に食器・飯盒の写真あり。
・陸軍については、下士官・将官を区別する資料は見つかりませんでした。
興味のある方は調べてみてください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等がわからない場合は、カウンター職員までお気軽に…。

・・・もう一冊!!!・・・ 44

ああ、古本屋さんが少なくなったなあ。とは、筆者の口癖です。本当は新しい(?)古本屋さんも増えているので、そんなに数が少なくなったわけではないと思うのですが、新開店の古本屋の多くが、コミック中心の新古本屋のような店なので、筆者のような「古臭い」お客には魅力を感じないのです。最近も西武新宿線の江古田近くの古本屋さんが一件店を閉めました。すぐ近くにブックオフが出来たせいばかりではないと思うのですが、ちょっと残念です。

三軒茶屋から少し渋谷に向かった三宿の三茶書房も閉めてしまいました、近くの江口書店も、開いているのやら閉まっているのやら。ここの支店が神保町(駿河台下)に店を出していますが、今やこちらが本店です。三宿の店は昔風の帳場スタイルのレジで、先代(?)のジイチャン(失礼)がいつも座っていました。奥の大きなケースの中には、いつも面白い本が飾ってあり、時折出して見せてもらいました。内田魯庵の「紙魚繁盛記」の揃いや、斉藤昌三の「蔵書票の話」はここで買ったものです。ジイチャン(再度失礼)は、包み紙を一枚取るのに一分くらい、ゆっくり包むのを待っていると、更に2~3分、レジからお釣りを出すのに…。といった具合にスローモーション映画を見るような具合でした。懐かしいなあ。

そう言えば、筆者が帳場のジイチャンの双壁と認知していたもう一人は、水道橋近くの沙羅書房の先代でした。これまた絵に描いたようなジイチャンが、狭い帳場にきちんと座っていました。この沙羅書房は“綺麗な本しか置かない”、(もちろん綺麗と言うのは、本の状態としてのことですよ)店だったので、安心して本を選べました。大学生の頃だから30年くらい前ですが、木村鷹太郎と言う人の「星座とその神話」と言う本が、いくらなんでも、と言う値段がついていたので、「これ間違ってますか?」と、今思えば無謀な申し出をしたところ、チョット本をひっくり返ししながら、無愛想な声で「うん、こりゃ00円だ」と言ってくれた事がありました。今も書棚にあります、懐かしい本です。

こういった「古臭い」古本屋は無くなりますが、最近渋谷の渋谷古書センター3階に出来た店は、超モダン古本屋で、これはこれで楽しいものです。昔風の本屋も良いし、今風の本屋も良いとおもいます。要するに古本屋なら何でも好い…。のですね、筆者は。締りの無い下げで失礼しました。次回は(予告どおりになったことはあまり無いのですが、)本屋さんの営業時間について書いてみます。(午睡)



—図書室から—

梅雨の中休み…ムシ暑さといったら、何となく体にこたえますね。本格的な夏までもう一息。今年はどうな夏が訪れるのでしょうか?

* 8月5日、情報検索システムリニューアル!

情報検索システムが画面を一新し、探しやすさ、速度も向上します。ご期待ください。それに伴い、システム切替えのため、8月2日(土)~3日(日)を4、5階とも閉室します。ご了承ください。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ No. 46

2003年6月22日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1